

お知らせ

第8回ふる浜まつり

- 開催日：10月13日（日）
- 会場：大森ふるさとの浜辺公園（雨天時：大森東小学校）
- 主催：大森西地区自治会連合会



昨年のふる浜まつり

第19回ポレポレECOまつり

- 今年のテーマは、「子ども交流センター流、江戸からつながるSDGs」です。
- 開催日：11月10日（日）
11時30分～15時30分
 - 会場：大田区立開桜小学校校庭・体育館
 - 主催：NPO 法人おおもり子どもセンター・子ども交流センター



昨年のポレポレECOまつり

OTA ふれあいフェスタ2024に出店します

大森コラボレーションでは、昨年に引き続き、今年も出店を予定しています。ぜひご来場ください。

- 開催日：11月2日（土）3日（日）
- 会場：ふるさとの浜辺エリア（大森ふるさとの浜辺公園）
太陽のエリア（平和島公園）
緑のエリア（平和の森公園）

飛びまち～大岡山の”好き”を発見する七日間

おお知るまちプロジェクトが主催するイベント「飛びまち～飛び出せ！おお知るまちプロジェクト～」が大岡山北口商店街内で開催されます。

- 開催日：10月21日（月）～27日（日）
10時～20時
- 会場：大岡山北口商店街内「Dショップチェーン大岡山店」

表紙の絵について

作者：山本ゆうさん タイトル：マーガレット



発行者 齋藤 十四男
 発行日 2024年10月1日



大田区区民活動支援施設大森 ころぼ大森
 住所 〒143-0015 大田区大森西 2-16-2
 電話 03-5753-6616
 URL <http://collabo-ohmori.com/>

ホームページ QRコード▶



2024 秋

おいでよ

collabo

ころぼ
季刊誌 vol.52

特集：新たな活動に挑戦する区民団体

目次

新たな活動に挑戦する区民団体 2P～4P
ころぼ大森のカフェタイム 5P
イベント・活動紹介 6P～7P
お知らせ 8P

特集

新たな活動に挑戦する区民団体



大田区内には、様々な分野で活動する区民団体があります。ここでは、大田区の「地域力応援基金助成事業」などを受けながら新たな活動にチャレンジしているグループを紹介します。

● ほめトコ ●

アート・制作活動を通じて多様性を育もう！



「ほめトコ」は、アート活動を通じて多様性を育む様々な関係性を築いていくことを目的として 2022 年に設立されたグループです。(代表：山本ゆうさん) 主な活動は、子どもたちを集めた工作活動やアート制作で、団体名の「ほめトコ」の名前には、子どもたちが遊びで作った作品に、「褒めるところ」を見つけようという意味が込められています。

8月6日(火)には、こらぼ大森で、小学生を対象に工作活動が行われ、メンバーの山本さん、葛西果奈さんの進行で、子どもたち 10 数名と一緒に、色とりどりのビーズを使ったアクセサ

リーづくりが行われました。

なお、代表の山本ゆうさんは、これまで、本季刊誌で何度も表紙の絵を描いて頂いており(季刊こらぼ Vol43～46、vol48 など)、本号の表紙の絵も山本さんの作品です。



色とりどりのビーズを使った制作

今後の活動に興味がある方は、下記 Line 公式アカウントにて情報提供を行っています。

「ほめトコ」
Line 公式
アカウント
QR コード



アクセサリーづくりの様子

● 縁プロジェクト ●

被災地支援の経験を活かした防災活動を実践



縁(えにし)プロジェクトは、東日本大震災発災後、宮城県東松島市でのボランティア活動メンバーが中心となって立ち上げた、被災地支援や防災活動を展開するグループ(代表：仙裕司さん)です。

大田区内では、これまでにイベント等で防災紙芝居や防災ゲームを行ったり、避難所運営訓練を行ったりするなど、防災活動を行ってきました。近年は、区公式スマートフォンアプリ「大田区防災アプリ」の普及活動にも力を入れており、特に区内の災害時要援護者(高齢者や障がい者)や支援者の方々がアプリを使うためのサポートを

しています。(本年度9月までに4回実施)

また縁プロジェクトは、各地で災害が発生した際の被災地災害支援活動(2019年千葉県台風災害支援、2016年熊本地震の災害支援、2015年フィリピンセブ島ハリケーン後の支援など)も行っています。今年1月に発生した能登半島地震後は、現地でのボランティア活動のほか、大森でのチャリティライブ(2024年2月)を実施しました。

今後も、縁プロジェクトの幅広い活動を通じた、地域の災害対策の実践が期待されます。



企画「非常食を食べてみよう」を主催(2023年)



東日本大震災ボランティア活動(2011年)



OTA ふれあいフェスタへの参加(2023年)



鬼怒川氾濫時のボランティア活動(2015年)

● おおお知るまちプロジェクト ● まちを知り、魅力を伝える学生グループ



「おおお知るまちプロジェクト」は、2021年10月に設立された、東京工業大学で都市計画などを学ぶ学生（現在10名）が中心となって活動しているグループです。大岡山キャンパスに通う中心メンバーが、「もっと大岡山のことを知って、地域の人たちや東工大生と大岡山の好きなところを共有したい」という思いをもって設立しました。主な活動内容は、ブログサイトなどでのまちの魅力発信や、大岡山千束まちづくり協議会などと連携したイベント活動などです。

「おおお知るまちプロジェクト」の活動には、地域の歴史を詳しく調べて商店街の特

徴を明らかにしたり、模型などを使って豊かな地形や水の循環などを表現したりと、学生ならではの目線や専門知識が活かされており、こうした活動を通じて、「今まで見えなかったまちの特徴を伝え、このまちに愛着をもってもらいたい」という目標が掲げられています。

特に力を入れているイベントに、2022年に始めた大岡山北口商店街でのイベント「飛びまち～飛び出せ！おおお知るまちプロジェクト～」があります。昨年は、10月23日～29日の1週間、大岡山北口商店街のレンタルスペースで、大岡山のまちの魅力を紹介する展示や子育てサロン、東工大の教員の特別出張講義などを行い、地域住民や子どもたちなど、多くの人に楽しんでもらう事ができました。今年の「飛びまち」は、10月21日（月）～27日（日）に大岡山北口商店街で開催予定ですので、興味がある方はぜひ足を運んでください。（取材協力：おおお知るまちプロジェクト 上本雄平さん、小倉達也さん）



大岡山北口商店街でのイベント「飛びまち」



大岡山のまち模型を使った展示



まちや大学の歴史の展示

おおお知るまちプロジェクト

ブログへのリンク：

<https://note.com/oooshirumachi/>



こらぼ大森のカフェタイム

Would you like some coffee?



こらぼ大森では、居場所づくりやIT相談などを目的とした気軽に立ち寄れるカフェ活動を実施しています。

● 誰でも気軽に立ち寄れる「お～ろくカフェ」

毎月第一水曜日に、誰でも気軽に集う居場所づくりを目的としたカフェ「お～ろくカフェ」を開催しています。（カフェの名前「お～ろく」は、「旧大森第六小学校」の名前に由来しています。）こらぼ大森2Fの多目的室で10時～16時の間オープンしており、出入りは自由で、思い思いの過ごし方をいただいています。加えて、希望者が参加できる

ちょっとしたイベントプログラムも用意しています。7月3日（水）は、イベントとして折り紙教室（講師：佐田朋子さん）や健康体操を行い、8月7日（水）は同様のプログラムと併せて、スマホ相談も実施しました。参加者の皆さんからは好評で、「楽しかった！次は友達を誘って来ます。」などと感想がありました。



思い思いに寛ぐ参加者の皆さん



健康体操を楽しむ参加者の方々

● パソコン・スマホ、気軽に相談できる「ITカフェ」

気軽にパソコンやスマートフォンの事を相談できる機会づくりを目的に、ITカフェを開催しています。参加者の皆さんは、それぞれスタッフに質問したり、参加者同士で教え合ったりすることができ、希望に合わせて「LINEの使い方講座」「スマホでできる脳トレ」などのミニ講座を受けることもできます。8月19日（月）は、10人ほどの参加があり、スマートフォンの操作の仕方などについて学びながら時間をすごしていました。



スマホの使い方などを相談

お問合せ：こらぼ大森情報交流室

03-5753-6560

イベント・活動紹介

とっておきの音楽祭 in 大森 が開催されました

音楽を通じ心のバリアフリーを実践

7月27日(土)、「とっておきの音楽祭 in 大森」(実行委員会主催)が、JR 大森駅東口駅前広場で開催されました。

とっておきの音楽祭は、障がいのある人もない人も一緒に音楽を楽しみ、心のバリアフリーをめざすストリート音楽祭です。「とっておきの音楽祭」は、2001年(平成13年)に仙台で始まり、これまでに全国25箇所以上で開催されています。数年前、東松島市での開催時に、ボランティアとして協力した大田区の「縁プロジェクト」の皆さんが、その趣旨に賛同し、大田区での開催に尽力して実現しました。

当日は暑い日差しのもと、2か所のステージでバンド演奏や合唱が披露され、ステージの周辺では、飲食や物品の販売、ワークショップ

なども開催され、多くの人で賑わいました。

前半に登場した、大森の合唱グループ「ラトレキッズ合唱団」の子どもたちは、体を動かしたり、手話を使ったりしながら歌い、会場を明るく楽しい雰囲気に染めていました。

司会者として分身ロボットも活躍

この音楽祭では、演奏の合間に、自宅にいる障害者の方々が、「分身ロボット OriHime」を使って MC (司会進行役) を行うなど、先進的な取り組みも行われました。夕暮れまで続いた音楽祭は、徐々にヒートアップしていき、ラストに障がいのある人・ない人が入り混じったバンド「コヤマッピョンズ」が演奏した際には、会場全体が一体となって盛り上がりました。

シルバーサロン調布・防災イベントを開催

(公社)大田区シルバー人材センターの会員さんや地域の高齢者の方々の交流の場であるシルバーサロンでの防災イベント、講師は元消防士(目黒消防署副署長)の阿部慶一さん。阿部さんはこらぼ大森で発行した「在宅避難」に特化した小冊子を企画編集した「防災まちづくり研究会」の会員さんでもあります。

当日は、「クイズで防災ー考えようあなたと家族の安全」というテーマで、前半ではスライドを使用して、災害に備えるポイントにつき一つひとつ説明がありました。豊富な事例紹介、具体的な対応方法、町会役員を30年携われた経験からの身近な地元情報等、時にはユーモアを交え、とてもわかりやすい内容でした。中でも強調されたのが、「ご近所力の強化」、防災にはコミュニケーションが一番大事とのお話には、大いに共感しました。

後半では、クロスロード(Yse・No)ゲームを全員で行いました。クロスロードとは「岐路」「分かれ道」という意味です。ある課題に対して「Yes」か「No」かのカードを一つだけ選択し、合図で一斉にオープンします。当

日は2グループに分かれて、それぞれのグループ内で各人が選んだ理由を話し、代表者が集約した意見を発表しました。正解はなく災害対応を自らの問題として考え、様々な意見や価値観を参加者同士が共有することがねらいということでした。

「防災講座」というと堅苦しいイメージがありますが参加者全員和気あいあいとした集いで今後もシルバーサロン等、区内各所で実施されるということです。



シルバーサロン調布・防災イベントの様子

「ソシオ大森」カーレット教室開催

8月1日(木)、総合型地域スポーツクラブ「ソシオ大森」が主宰するカーレット教室が、行われました。カーレットは、カーリングを基にした卓上型のゲームです。皆さん楽しそうに、ストーンを滑らせていました。(毎月第1, 3木曜日10時開催)



カーレットの得点について

カーレットはひとりが2個のストーンを持ち、相手と交互に投球していきます。チーム全員投げ終わった後、ハウスの中心に一番近いストーンのチームが勝ちとなり、相手より中心に近いストーンの数点が点数になります。(上の写真の場合は青に1点)



カーレット教室の様子



「ラトレキッズ合唱団」の手話を使った合唱



「分身ロボット OriHime」も活躍しました



飲食や物品販売の様子



バンド「コヤマッピョンズ」の演奏

